

現場説明書(技術的事項)

工事名 福山市立幕山小学校南棟校舎外壁改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立幕山小学校敷地内です。

工事期間中は、校舎、屋内運動場・グラウンド等は使用しています。

2. 別途工事

- ・給食調理場冷暖房設備設置工事

3. 留意事項

- ① 工事期間中は学校を使用しているため、事故のないよう十分注意し、職員・児童及び第三者に対する安全確保に努めてください。
- ② 現場着手日及び工事関係車両の駐車場は、施設管理者と協議し決定してください。
また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- ③ 9月から2学期が開始するので、8月31日までに渡り廊下及び昇降所部分の工事を完了させてください。
また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないようにしてください。
- ④ 夏休み中、個人懇談会や登校日等の学校行事の際における作業内容は、施設管理者との協議が必要です。
- ⑤ 工事中も室内換気や空調機が使用できる対策を講じてください。
学校等の状況により、改修工事の区分けでの施工や改修内容の変更が生じる場合があります。
- ⑥ 外壁劣化調査後速やかに外壁劣化調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て改修工事を行ってください。
- ⑦ 契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑧ 既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。
なお、損傷を与えた場合には監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- ⑨ はつり工事に際しては、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- ⑩ 特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑪ 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑫ 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ⑬ 工事の施工に支障となる物品・倉庫等については、仮移動等学校と協議を行い実施してください。

4. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。については、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- 「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提

出は不要です。

- 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- 大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡してください。
- ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せてください。

福山市立幕山小学校南棟校舎外壁改修工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	仮設工事特記仕様書・付近見取図・配置図
7	1階平面図・鉄骨渡り廊下断面図
8	2階平面図
9	3階平面図
10	R階平面図
11	北・南立面図
12	東・西立面図
13	矩計図・部分詳細図
14	渡り廊下矩計図・部分詳細図
15	附属棟各図面

福山市建設局建築部営繕課					開注
					2024年 4月
主務	課長	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																	
⑦ 石綿含有建材の除去及び処理	① 事前調査 <6.1.4.1>	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要 (内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) 分析必要箇所 (箇所)	5 石綿含有保温材等の除去 <6.4.1~6.4.4>	⑧ 養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理を行う。 ⑨ 後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。	1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	2) 養生等 ① 石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生 (負担不要) を行う。 ② 作業場の隔離 (・ 行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 ③ 作業場の隔離を行う場合は、4 2) を適用する。 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理 (※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化する)) 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 5) 確認及び後片付け ① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ② 確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③ 養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。	2) 養生等 石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 除去工法 ① 原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生 (負担不要) を行う。 ② 除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないこと、粉じんの飛散防止に努める。 ③ 破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ① 処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ② 除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③ 石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ② 養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	3) 除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9>	1) 専門事業者 石綿含有吹き付け材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ① 石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。 ② 排出事業者は、石綿含有吹き付け材、石綿含有保温材等の除去工事では、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 3) 除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者 (以下「除去作業者」という。) は、石綿障害予防規則 (平成17年厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。) に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督員の承認を受けること。 5) 表示及び掲示 ① 関係者以外立ち入り禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ② 石綿の有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 ③ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ (労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6) 保護具・保護衣 ① 作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しにくく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業衣を着用する。 ② 監督員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 7) 官公署その他への手続き ① 労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画書 (労働基準監督署) ② 「石綿則」第5条第1項の規定による作業届 (労働基準監督署) ③ 大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出 (都道府県知事) ④ その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出 (特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) 8) 適用基準等 ※ 「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・問解説」	⑥ 石綿含有成形板等の除去 <6.5.1~6.5.4>	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・シーリング</td><td>・建具周囲</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・シーリング	・建具周囲	・	・	・	・	・	・	7 石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	4 石綿含有吹き付け材の除去 <6.3.1~6.3.4>	1) 処理を行う石綿含有吹き付け材の仕様及び部位 ※ 図面による ・ 下記による	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有吹き付け材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	石綿含有吹き付け材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	2) 作業場の隔離、養生等 ① 除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため、プラスチックシート等を用いて負担隔離養生を行う。 ② 隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により、常時負圧を保持。 ③ 隔離した作業場内への出入りによる石綿粉じんの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び更衣室の3室で構成するセキュリティゾーンを設置する。 ④ 洗浄室にはエアシャワー設備を設ける。 ⑤ 除去物の処理 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化する) 3) 除去工法 ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所 () 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ① 除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※ 平日受入) ・ ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ② 石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。 5) 確認及び後片付け ① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ② 確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③ 養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④ 養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤ 壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、黒じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に、シートは、取り外して粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥ 養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体搬出する。 ⑦ 床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。
	石綿含有保温材等の仕様	使用部位																																																										
	・	・																																																										
	・	・																																																										
・	・																																																											
・	・																																																											
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																																																											
・シーリング	・建具周囲																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
石綿含有吹き付け材の仕様	使用部位																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											



福山市建設局建築部営繕課
設計
2024年4月

工事名称
福山市立幕山小学校南棟校舎外壁改修工事
図面名称
外壁改修工事特記仕様書 No.1-2

名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理											
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm超		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm											
改修前	改修後																								
工程		<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p>				<p>①サンダーケレン ②ひび割れシール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。</p>				<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-1工法に含む。</p>				<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②、④の工程はA-1工法に含む。</p>				<p>①サンダーケレン ②ひび割れシール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。</p>				<p>①ひび割れ部モルタルカッター切り ②モルタル撤去 ③ひび割れシール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。</p>			
設計数量		設計数量: m ²				検査設計数量: 70.6 m ² 塗り層下設計数量: 22.9 m ² 屋外便所設計数量: 0.5 m ² 危険物倉庫設計数量: 0.1 m ²				設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は単動ひび割れ数量を示す				設計数量: m				設計数量: m				設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () m () 内は単動ひび割れ数量を示す			
名称		B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理															
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm超		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		C-1 打放し面鋼鉄筋部処理		C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり															
改修前	改修後																								
工程		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。</p>				<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。</p>				<p>①鋼鉄筋周辺のはつり ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。</p>				<p>①カッター縁切り (C-3) ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。</p>				<p>①カッター縁切り (C-3) ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。</p>							
設計数量		検査設計数量: 80.7 m ² 塗り層下設計数量: 26.1 m ² 屋外便所設計数量: 0.6 m ² 危険物倉庫設計数量: 0.1 m ²				設計数量: m				検査設計数量: 103 m ² 塗り層下設計数量: 33.3 m ² 屋外便所設計数量: 0.8 m ² 危険物倉庫設計数量: 0.2 m ²				設計数量: m				検査設計数量: 3.7 m ² 塗り層下設計数量: 1.2 m ² 屋外便所設計数量: 0.1 m ² 危険物倉庫設計数量: 0.1 m ²							
名称		D 浮き部処理																							
記号・仕様		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]								D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]															
改修前	改修後																								
工程		<p>①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2' 工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。</p>				<p>①一部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分) ②一部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>●アンカーピン固定部 ○注入部</p>				<p>①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④XPSパッド挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※D-3' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p>				<p>①一部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②一部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>●アンカーピン固定部 ○注入部</p>											
設計数量		検査設計数量: ①一般部分: [見上げ面] 73.5 m ² [外壁面] m ² ②指定部分: 56.7 m ² ③狭幅部: 113 m 屋外便所設計数量: ①一般部分: [見上げ面] m ² ②指定部分: 0.5 m ² ③狭幅部: m				塗り層下設計数量: ①一般部分: [見上げ面] 23.8 m ² ②指定部分: 18.4 m ² ③狭幅部: 36.6 m 危険物倉庫設計数量: ①一般部分: [見上げ面] m ² ②指定部分: 0.2 m ² ③狭幅部: m				設計数量: ①一般部分: m ² ②指定部分: m ² ③狭幅部: m				設計数量: ①一般部分: m ² ②指定部分: m ² ③狭幅部: m											
名称		D 浮き部処理																							
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]								D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]															
改修前	改修後																								
工程		<p>①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④XPSパッド挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※D-4' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p>				<p>①一部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②一部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>●アンカーピン固定部 ○注入部</p>				<p>①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入部付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5' 工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。</p>				<p>①一部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②一部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>●注入部付アンカーピン固定部 ○注入部</p>											
設計数量		設計数量: ①一般部分: m ² ②指定部分: m ² ③狭幅部: m				設計数量: ①一般部分: m ² ②指定部分: m ² ③狭幅部: m				設計数量: ①一般部分: m ² ②指定部分: m ² ③狭幅部: m				設計数量: ①一般部分: m ² ②指定部分: m ² ③狭幅部: m											

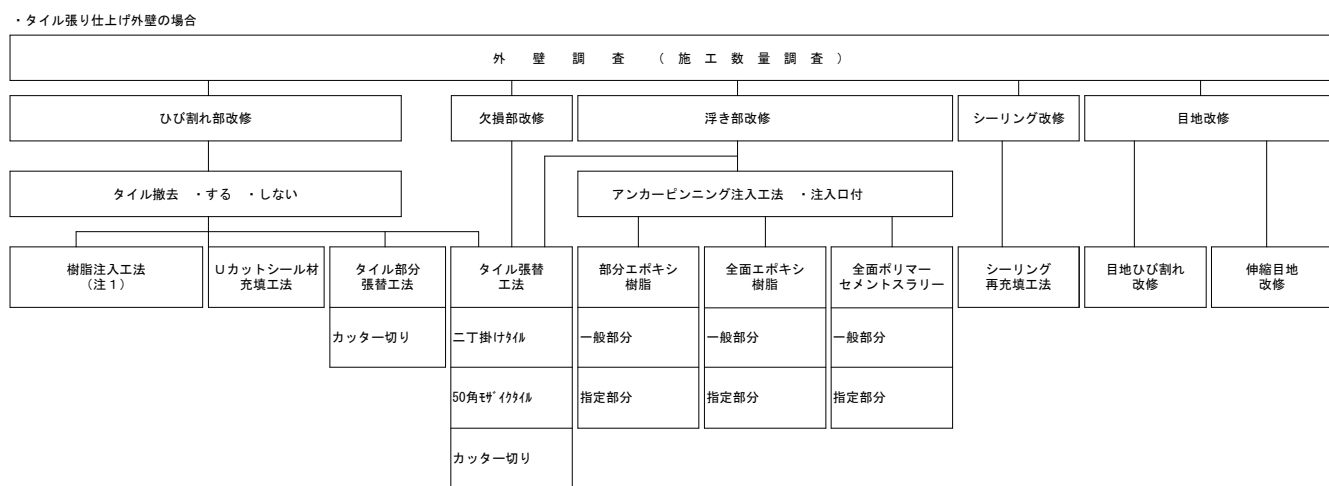
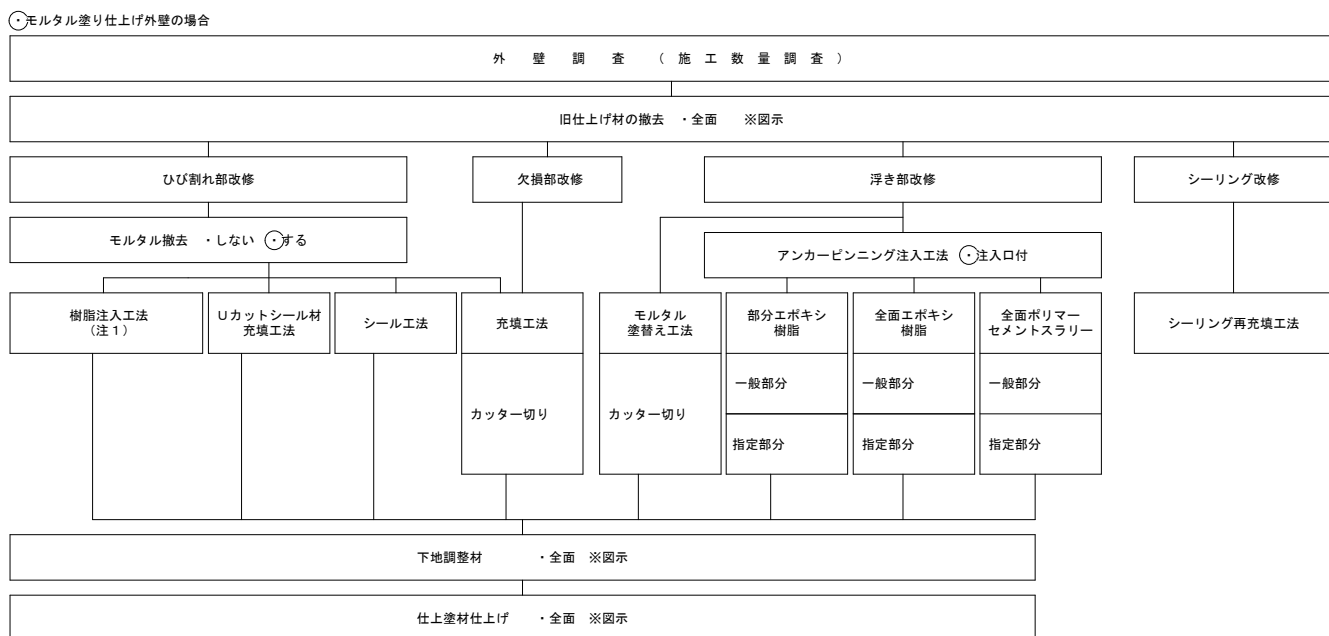
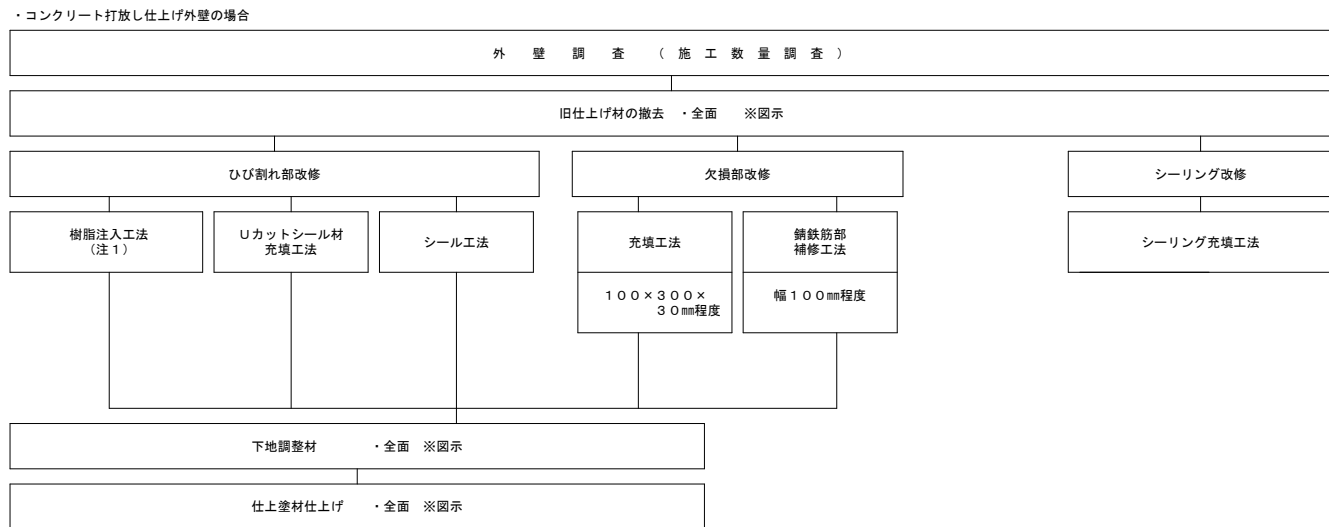
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]	
改修前		
改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まてさ隅角部分等) ③破損部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅狭い箇所) ※注入付アンカー固定部 ○注入部 設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ	D-8 タイル面注入付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]
改修前		
改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ] ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※D-7' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m

名称	E 欠損部処理		
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]
改修前			
改修後			
工程	①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む	①欠損部、錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む	①カッター縦切り (C-3) ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 校舎設計数量：5.1㎡ 渡り廊下設計数量：1.6㎡ 屋外便所設計数量：0.1㎡ 危険物倉庫設計数量：0.1㎡

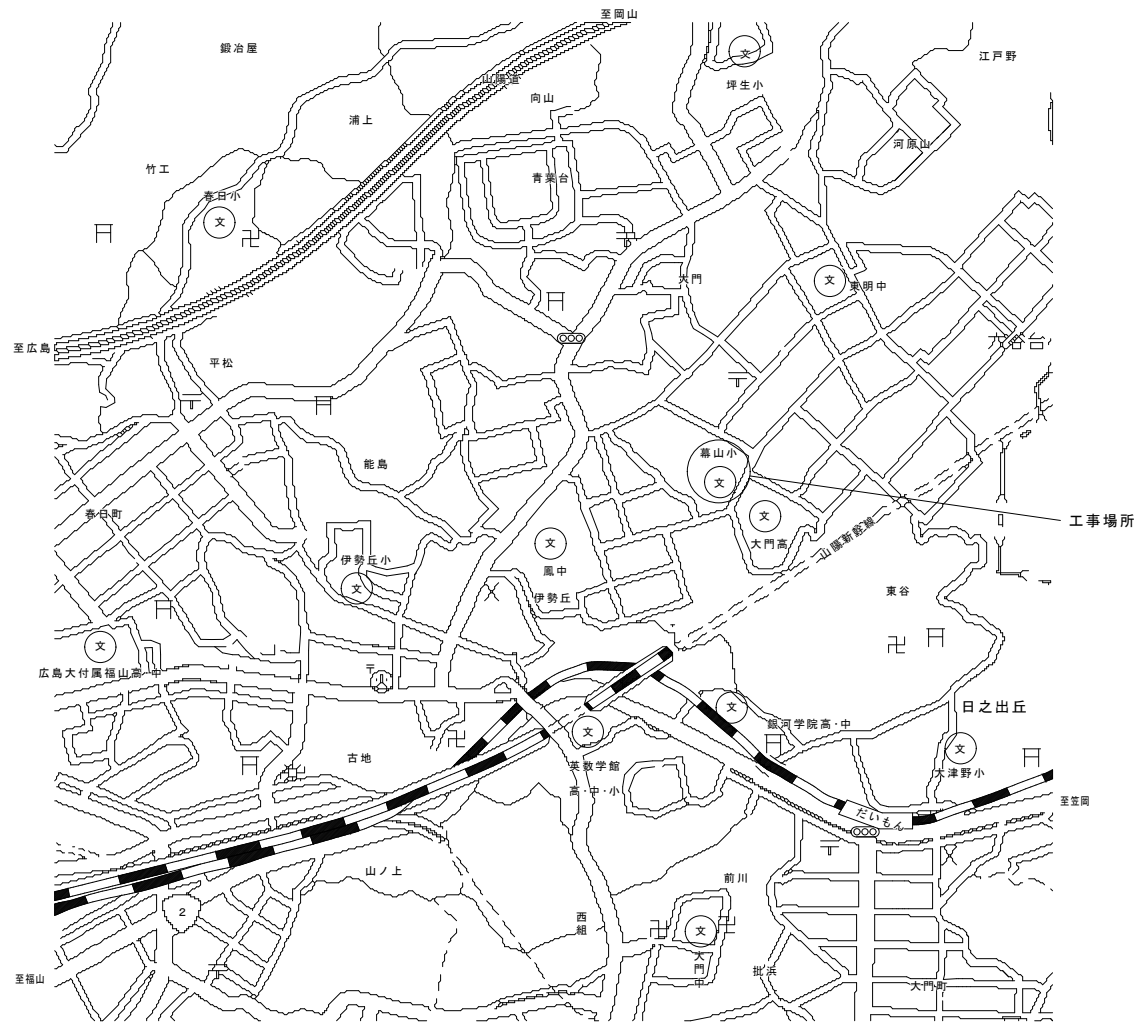
名称	F 外壁複合改修工法													
記号・仕様	F 外壁複合改修工法													
改修前														
改修後														
工程	下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーベスト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーベスト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦シーリング打設 (MS-2)													
	<table border="1"> <tr><td>南棟校舎</td><td>ネット張り</td><td>309㎡</td></tr> <tr><td>設計数量</td><td>水切</td><td>248m</td></tr> <tr><td>渡り廊下</td><td>ネット張り</td><td>35.5㎡</td></tr> <tr><td>設計数量</td><td>水切</td><td>33.6m</td></tr> </table>		南棟校舎	ネット張り	309㎡	設計数量	水切	248m	渡り廊下	ネット張り	35.5㎡	設計数量	水切	33.6m
南棟校舎	ネット張り	309㎡												
設計数量	水切	248m												
渡り廊下	ネット張り	35.5㎡												
設計数量	水切	33.6m												

外壁改修フロー図



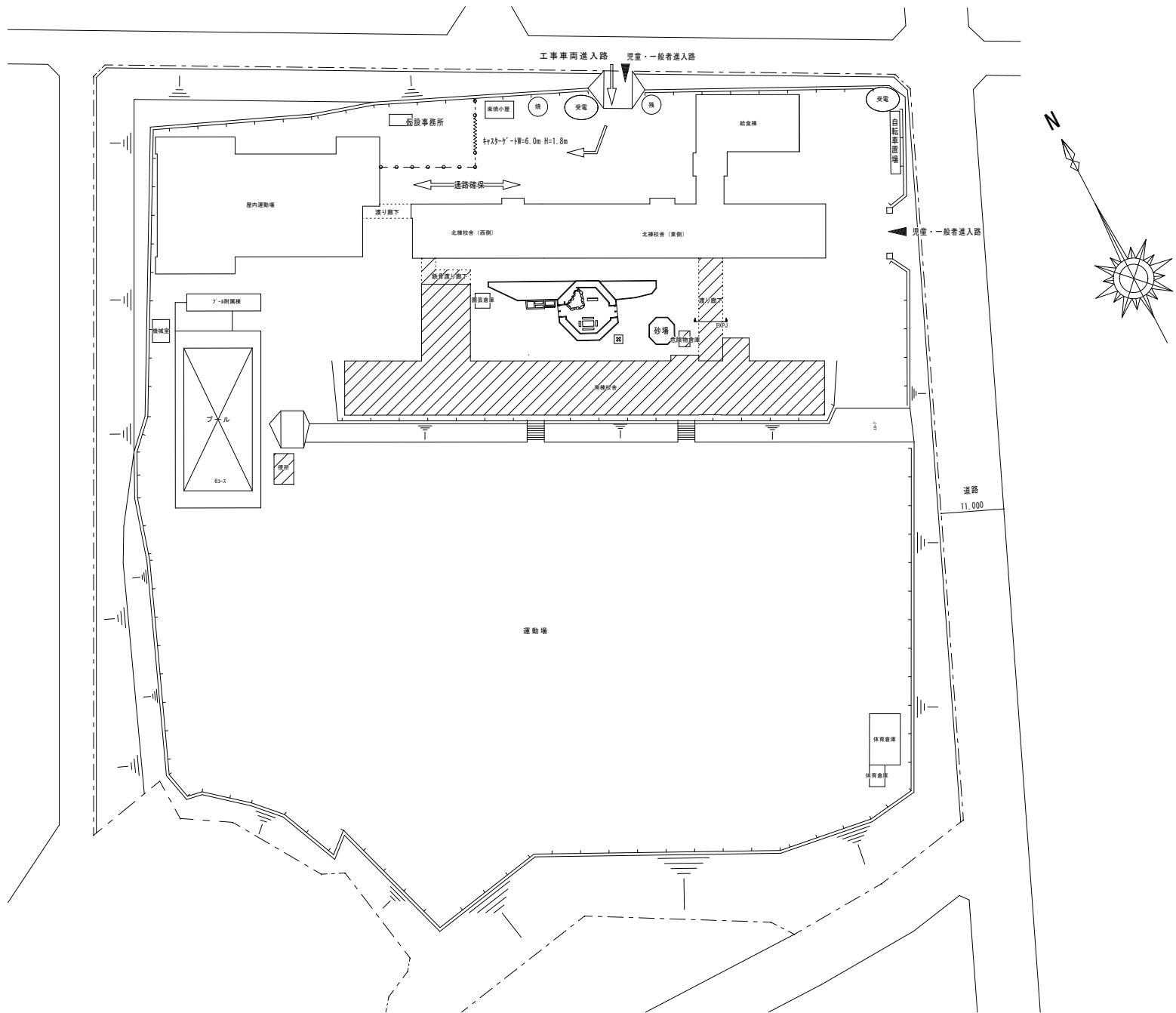
(注1) 樹脂注入工法の種類を示す

南棟校舎	ネット張り	309㎡
設計数量	水切	248m
渡り廊下	ネット張り	35.5㎡
設計数量	水切	33.6m



付近見取図 S=Non Scale

福山市立幕山小学校
福山市幕山台二丁目17番1号



配置図 S=1/500

仮設工事特記仕様書

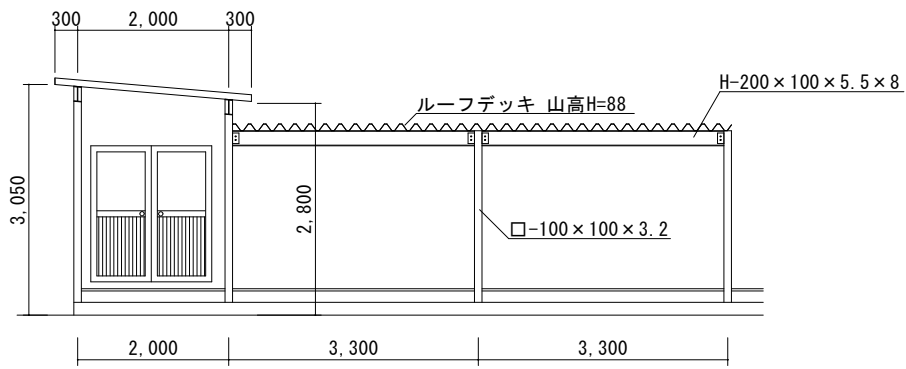
- ① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は東出入口とする。
- ② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。(既設建物を備めた場合には復旧する。)
- ⑤ 児童の移動が集中する時間帯(登下校時等)は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場(先行足場、階段共)には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 児童及び第三者が、工事エリアに入れないように、1段目には金網を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
- ⑫ 昇降所等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑬ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑭ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。

■ 凡例

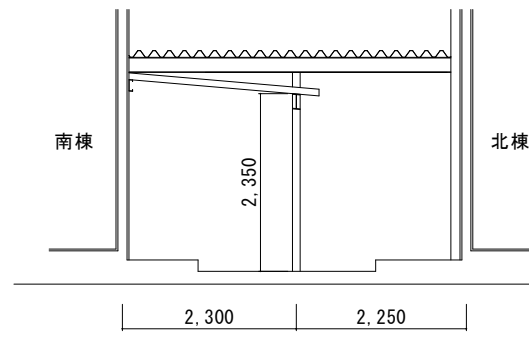
	工事対象建物等 (①~⑤)
	工事車両進入路
	児童・一般者進入路
	仮囲い 成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800

※ 現場事務所の設置場所は、学校と協議の上、決定する。

A1: 100%
A3: 50%

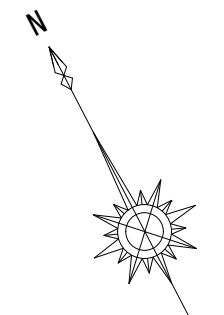


A-A断面図 S=1/50

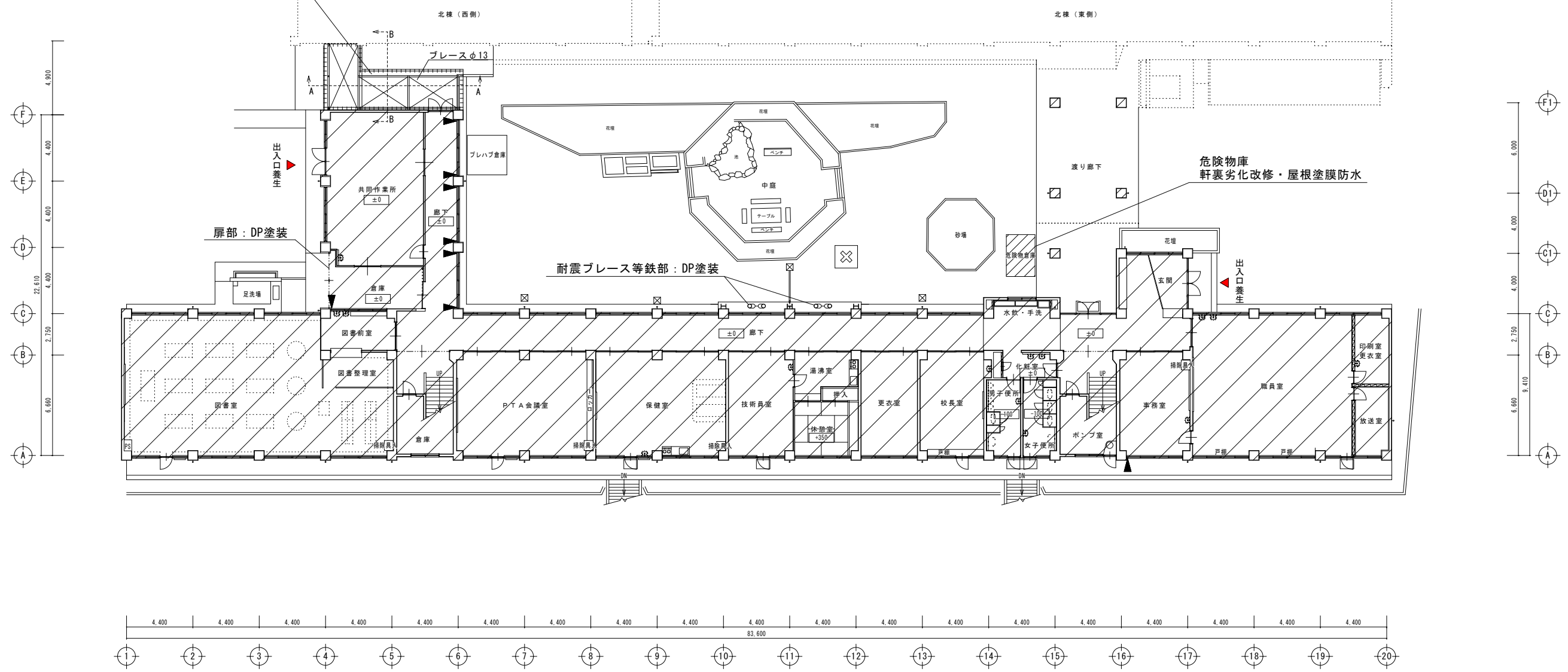


B-B断面図 S=1/50

工事符号及び工事内容	記号	改修内容
校舎棟 外壁部 (渡り廊下含む) 危険物庫軒裏		外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部、避難ハコを含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 堅種撤去(金具共)の上、堅種取付 13-VPφ75(SUS金具共)
小庇 各天端 バルコニー 渡り廊下 R階 手摺控柱		既存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧水洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、UV劣化膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防滑仕上げ
校舎棟 R階 (平屋部屋上含む) 校舎棟 PHR階 渡り廊下 R階		既存: 合成高分子「フロン」シート防水 改修内容: 平屋部 シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り・溝部 既存シート防水撤去後、下地調整(4'リブ4'リブ) シート防水 塩化ビニル系 t=2.0mm S-F2(接着工法) 脱気筒(SUS)端部 金物挿入(7&L45x60x1.5 シーリング)共 72'、脱気筒、手すり控柱、PHR部 金物挿入(7&L10x30x1.5 シーリング)共

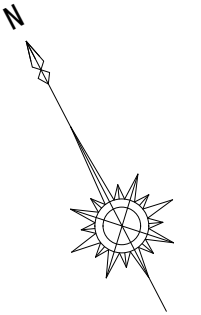


部:鉄骨渡り廊下改修部
屋根・柱・梁・ブレース等鉄部:DP塗装



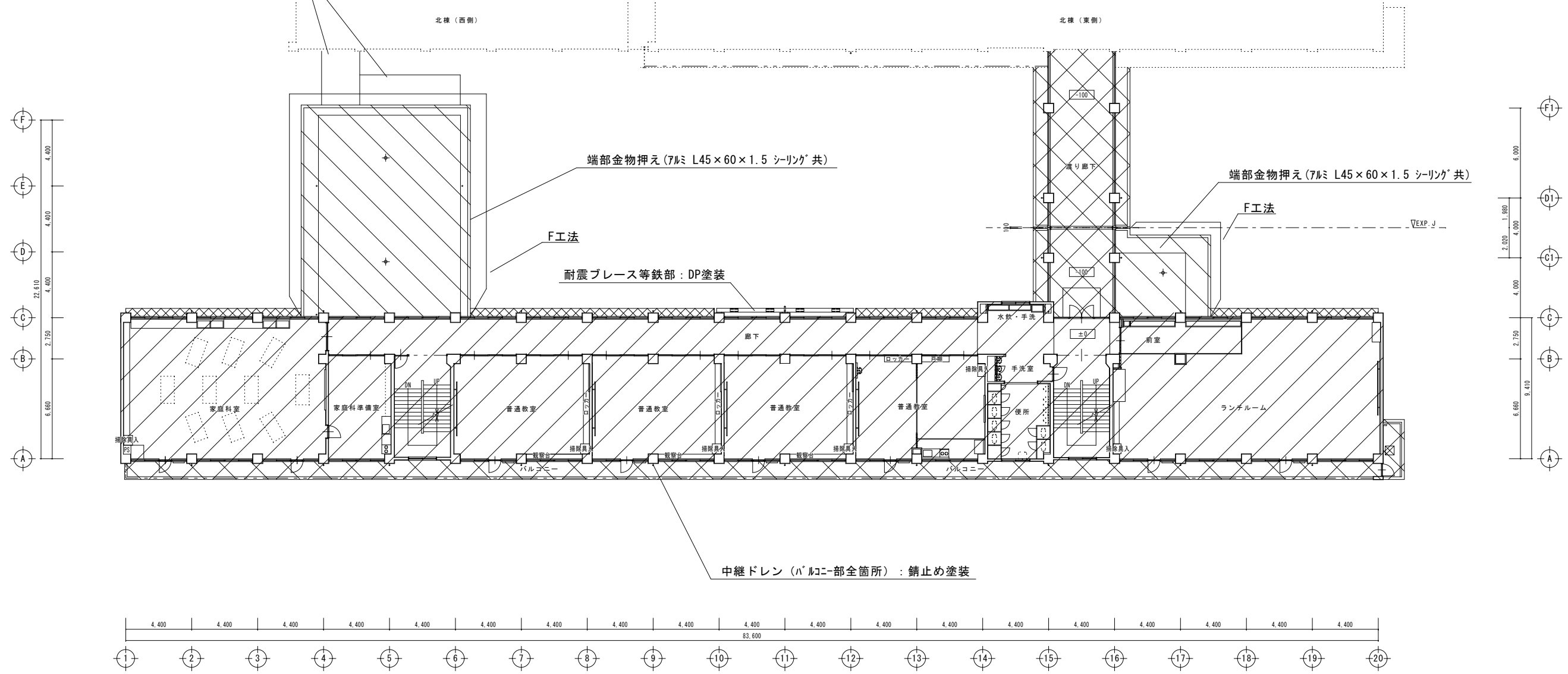
1階平面図 S=1/150

A1: 100%
A3: 50%



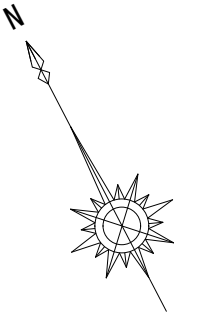
工事番号及び工事内容		改修内容
	校舎棟 外壁部 (渡り廊下含む) 危険物庫軒裏	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部、避難ハコを含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 縦樋撤去(金具共)の上、縦樋取付 53-VPφ75(SUS金具共)
	小庇 各天端 バルコニー 渡り廊下 R階 手摺控柱	既 存：防水モルタル現し 改修内容：高圧水洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、UV劣化耐防水(X-2工法) ※バルコニー 防滑仕上げ
	校舎棟 R階 (平屋部屋上含む) 校舎棟 PHR階 渡り廊下 R階	既 存：合成高分子 μ -Fノンシート防水 改修内容：平屋部 シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り・溝部 既存シート防水撤去後、下地調整(4'リブ4'リブ) シート防水 塩化ビニル系 t=2.0mm S-F2(接着工法) 脱気筒(SUS)端部 金物押え(7â L45×60×1.5 シーリング 共) 72'、脱気筒、手すり控柱、PH部 金物押え(7â L10×30×1.5 シーリング 共)

鉄骨渡り廊下
屋根・柱・梁・ブレース等鉄部：DP塗装

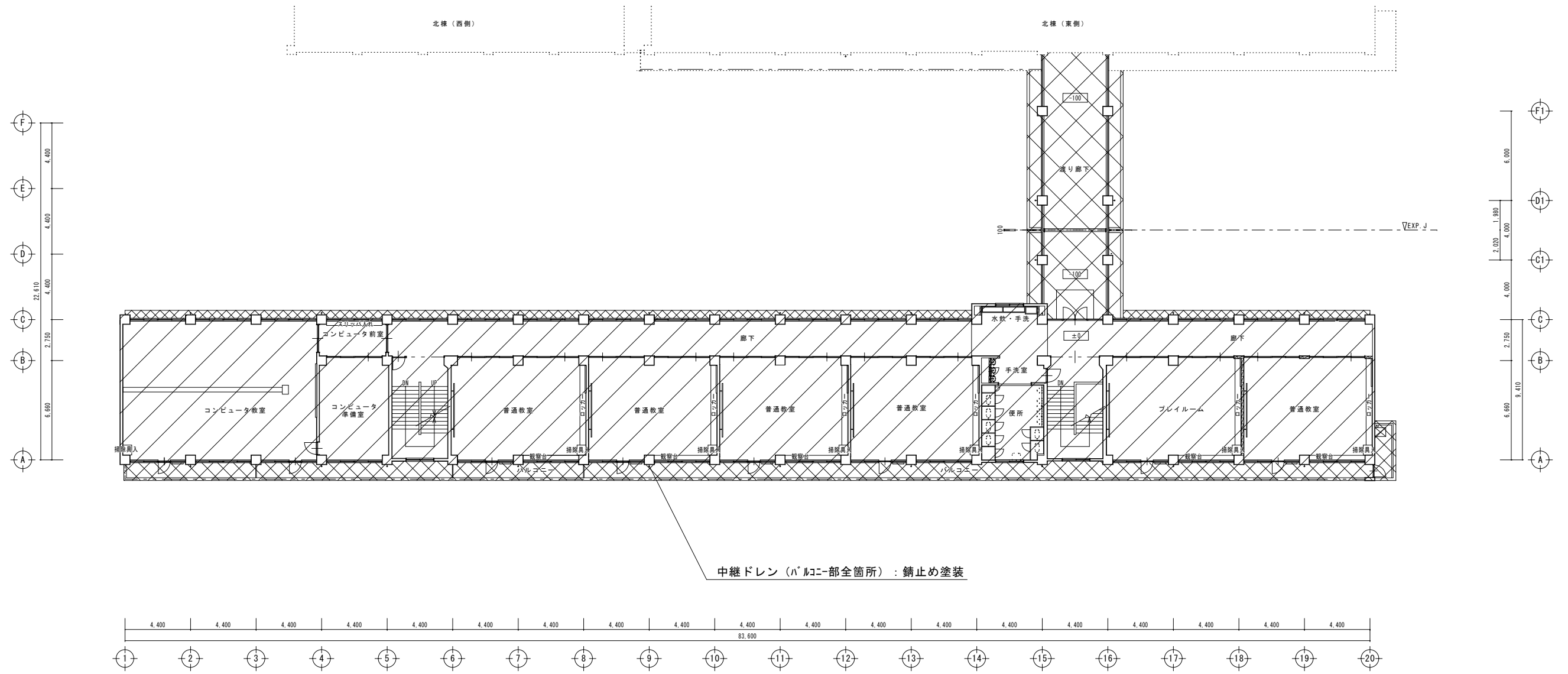


2階平面図 S=1/150

A1: 100%
A3: 50%

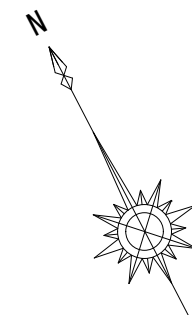


工事番号及び工事内容		改修内容
校舎棟 外壁部 (渡り廊下含む) 危険物庫軒裏	記号	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部、避難ハコニ含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 縦樋撤去(金具共)の上、縦樋取付 53-VPφ75(SUS金具共)
小庇 各天端 バルコニー 渡り廊下 R階 手摺控柱	記号	既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、9k9塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防滑仕上げ
校舎棟 R階 (平屋部屋上含む) 校舎棟 PHR階 渡り廊下 R階	記号	既 存: 合成高分子 ϵ -フロン γ シート防水 改修内容: 平屋部 シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り・溝部 既存シート防水撤去後、下地調整(4'ワ-4'ワ) シート防水 塩化ビニル系 t=2.0mm S-F2(接着工法) 脱気筒(SUS)端部 金物押え(7&L45×60×1.5 シーリング)共 72'、脱気筒、手すり控柱、PH部 金物押え(7&L10×30×1.5 シーリング)共

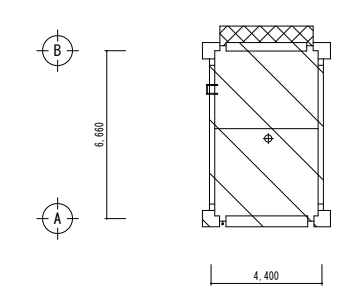


3階平面図 S=1/150

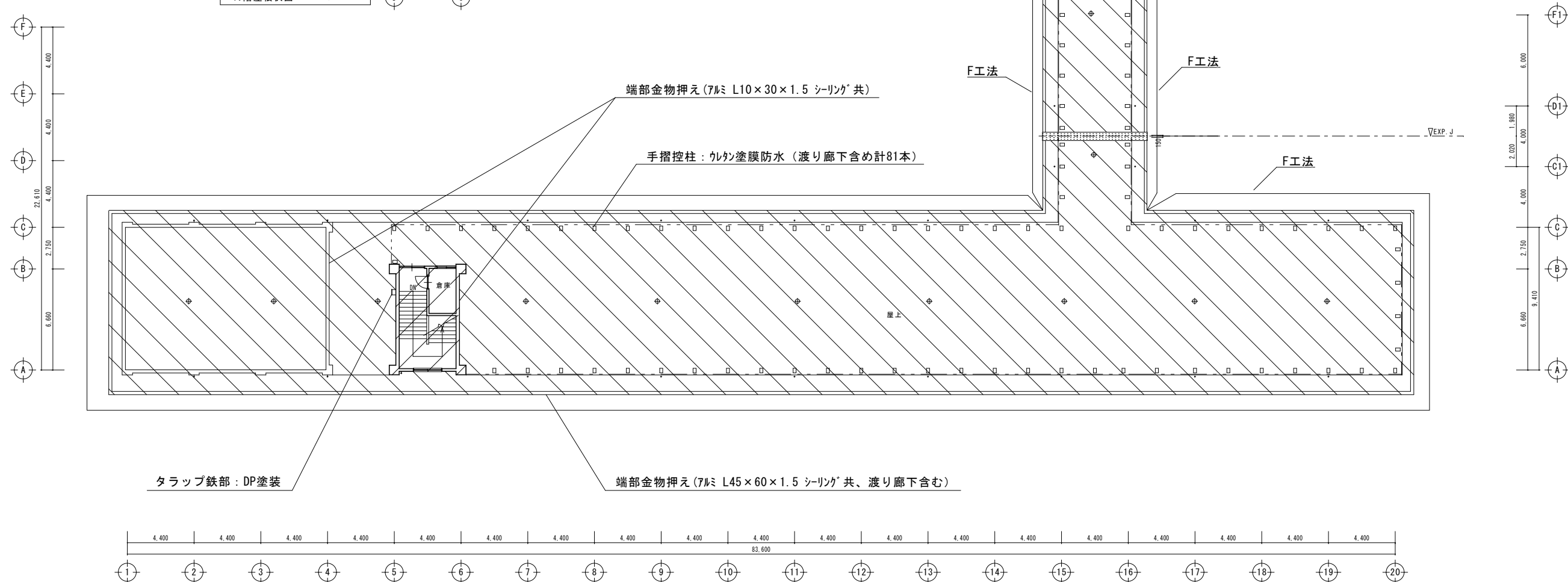
A1: 100%
A3: 50%



工事符号及び工事内容		改修内容
	校舎棟 外壁部 (渡り廊下含む) 危険物庫軒裏	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装塗材E吹付け)(底部、避難ハコ-含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 縦樋撤去(金具共)の上、縦樋取付 53-VFφ75(SUS金具共)
	小庇 各天端 バルコニー 渡り廊下 R階 手摺控柱	既 存：防水モルタル現し 改修内容：高圧水洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防滑仕上げ
	校舎棟 R階 (平屋部屋上含む) 校舎棟 PHR階 渡り廊下 R階	既 存：合成高分子 μ -フロン μ シート防水 改修内容：平屋部 シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法) 立上り・溝部 既存シート防水撤去後、下地調整(4'リ-4'リ) シート防水 塩化ビニル系 t=2.0mm S-F2(接着工法) 脱気筒(SUS)端部 金物押え(7本 L45×60×1.5 シーリング 共) 72'、脱気筒、手すり控柱、PH部 金物押え(7本 L10×30×1.5 シーリング 共)



R階屋根伏図 S=1/150



タラップ鉄部：DP塗装

端部金物押え(7本 L45×60×1.5 シーリング 共、渡り廊下含む)

端部金物押え(7本 L10×30×1.5 シーリング 共)

手摺控柱：ウレタン塗膜防水(渡り廊下含め計81本)

F工法

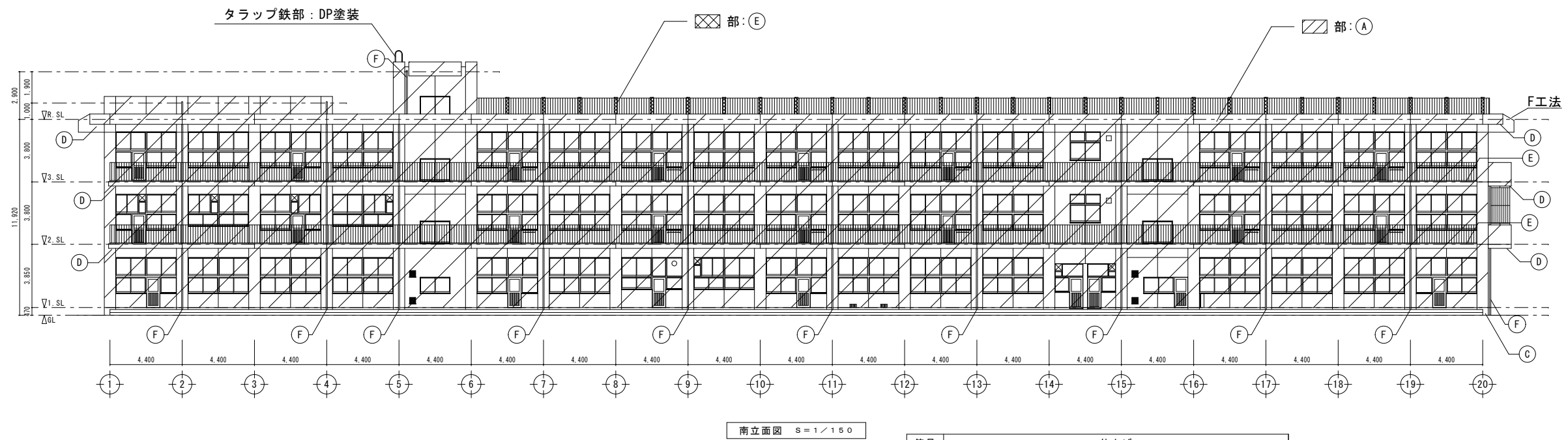
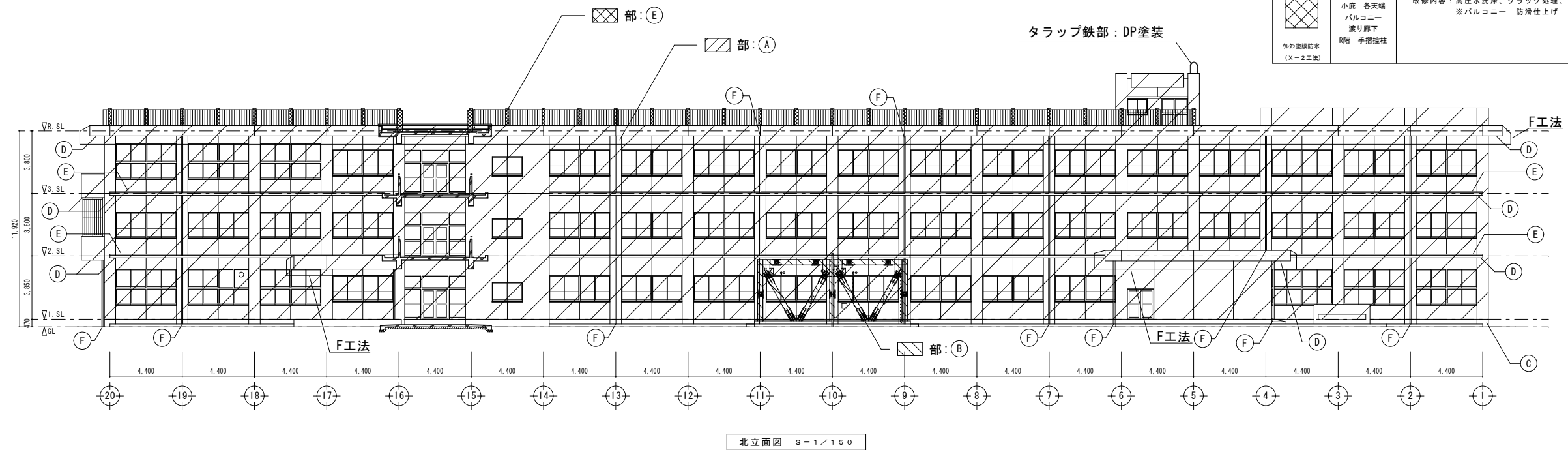
F工法

F工法

R階平面図 S=1/150

A1: 100%
A3: 50%

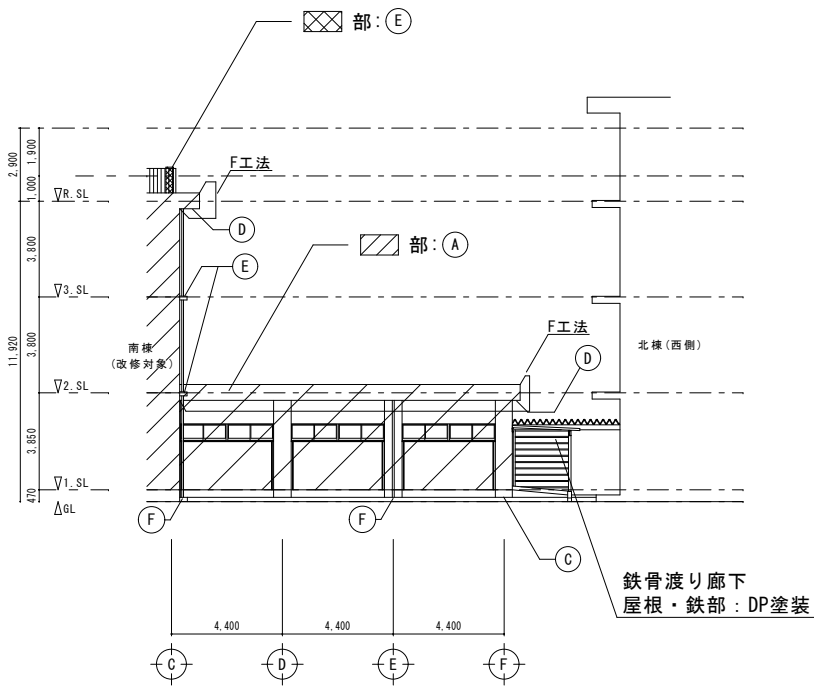
工事符号及び工事内容		改修内容
	校舎棟 外壁部 (渡り廊下含む) 危険物庫軒裏	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(底部、避難ハコ-含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁礎撤去(金具共)の上、壁礎取付 φ5-VPφ75(SUS金具共)
	小庄 各天端 バルコニー 渡り廊下 R階 手摺支柱	既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧水洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法) ※バルコニー 防滑仕上げ
	外装塗膜防水 (X-2工法)	



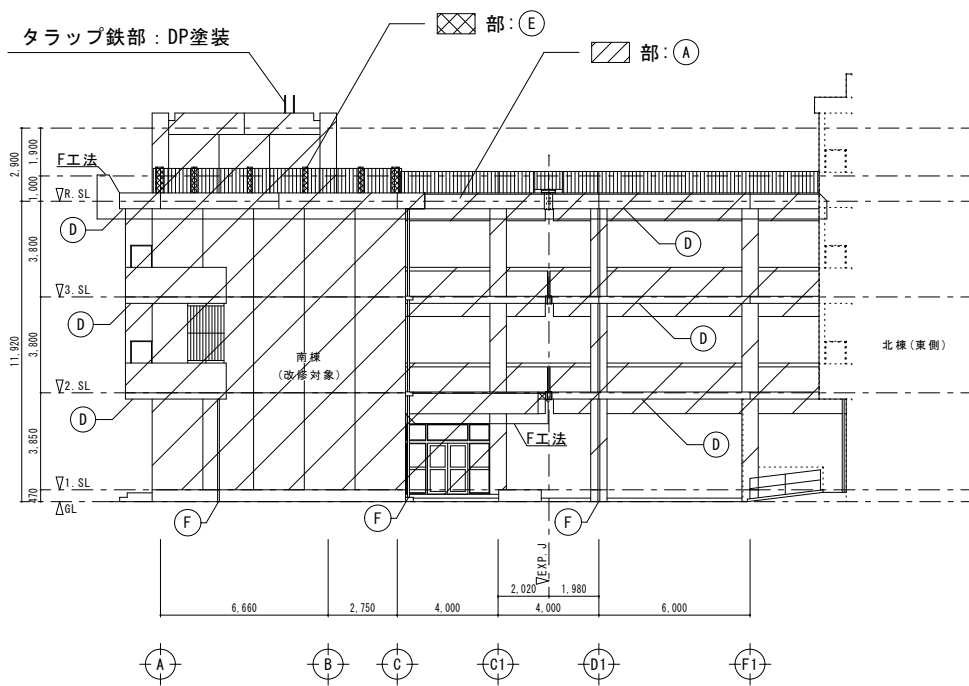
符号	仕上げ
A	既存 外壁・柱・梁型:モルタル刷毛引きの上、外装薄塗材E塗り
	改修 高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
B	既存 耐震壁(鉄骨部):DP塗装
	改修 下地調整の上 DP塗装
C	既存 巾木:モルタル金コテ押え
	改修 既存のまま
D	既存 外装薄塗材E吹付
	改修 高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
E	既存 防水砂外塗り
	改修 高圧水洗浄、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
F	既存 壁礎: VPφ75
	改修 撤去の上 カラーVPφ75取付(SUS掘込み金物共)

共通事項
 外装薄塗材E:高圧水洗浄(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 複層塗材Eローラー塗り:高圧水洗浄(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 外部建具・躯体取合部:変成シリコン系シーリング(MS-2)打替
 外部配管・配線・ウェザーカバー:DP塗装

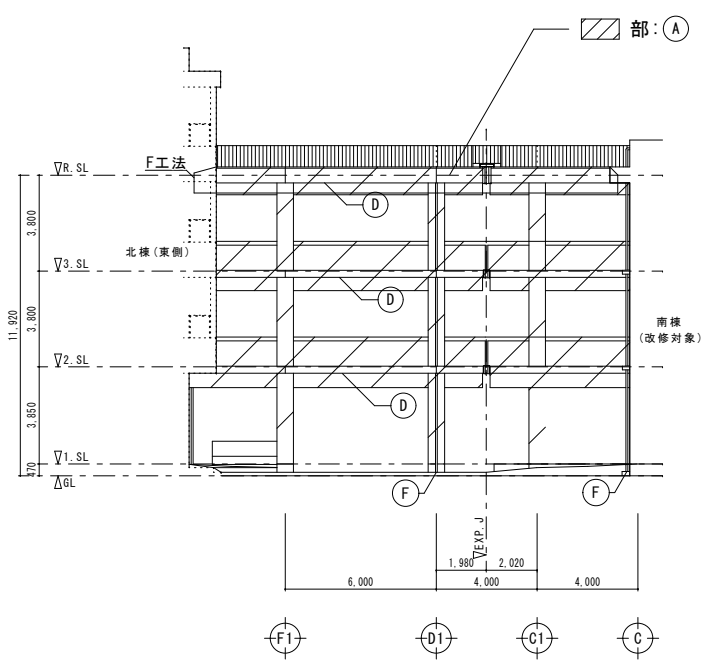
A1: 100%
A3: 50%



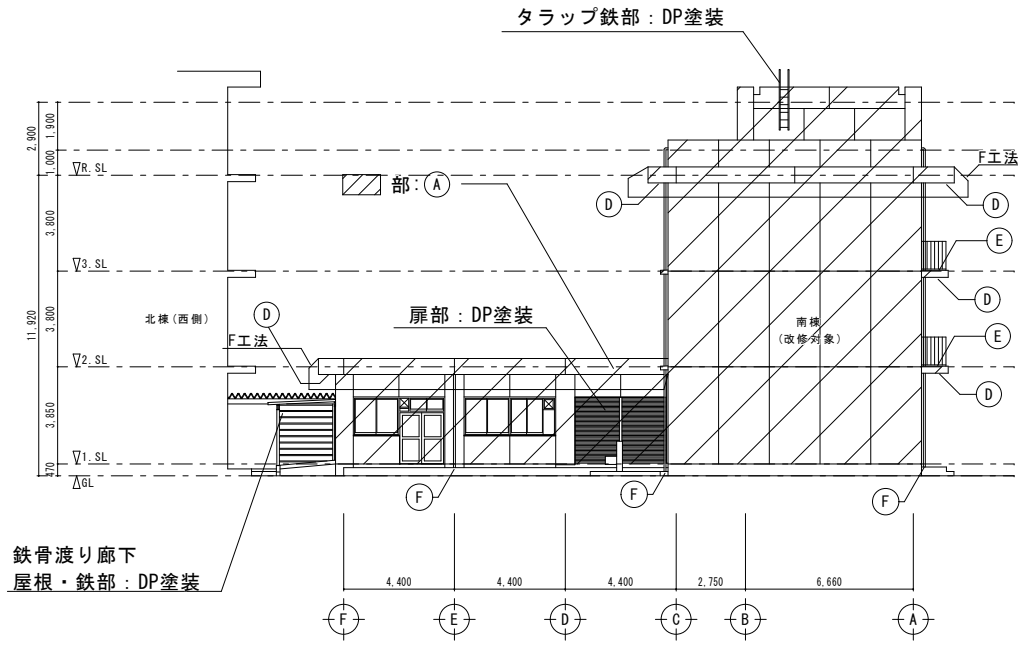
西側平屋部東立面図 S=1/150



東立面図 S=1/150



渡り廊下西立面図 S=1/150



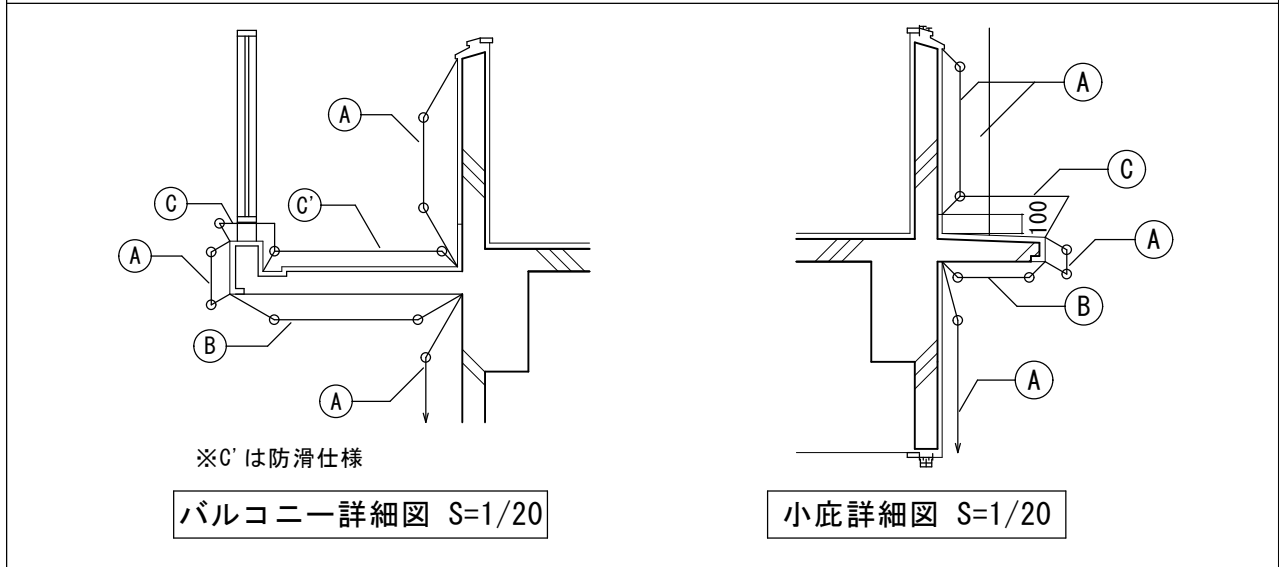
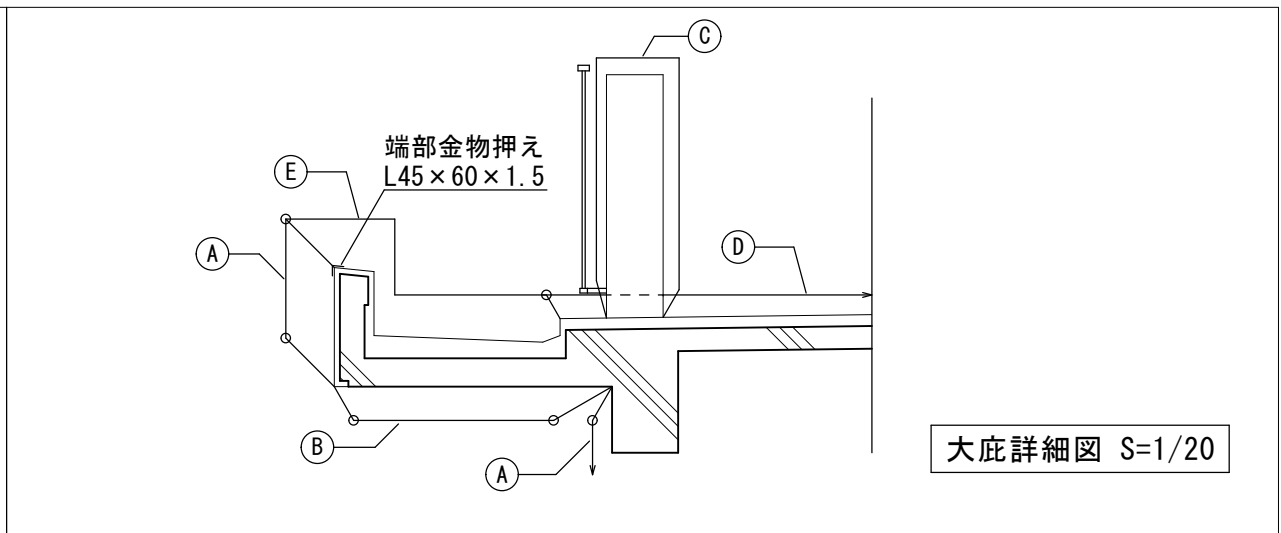
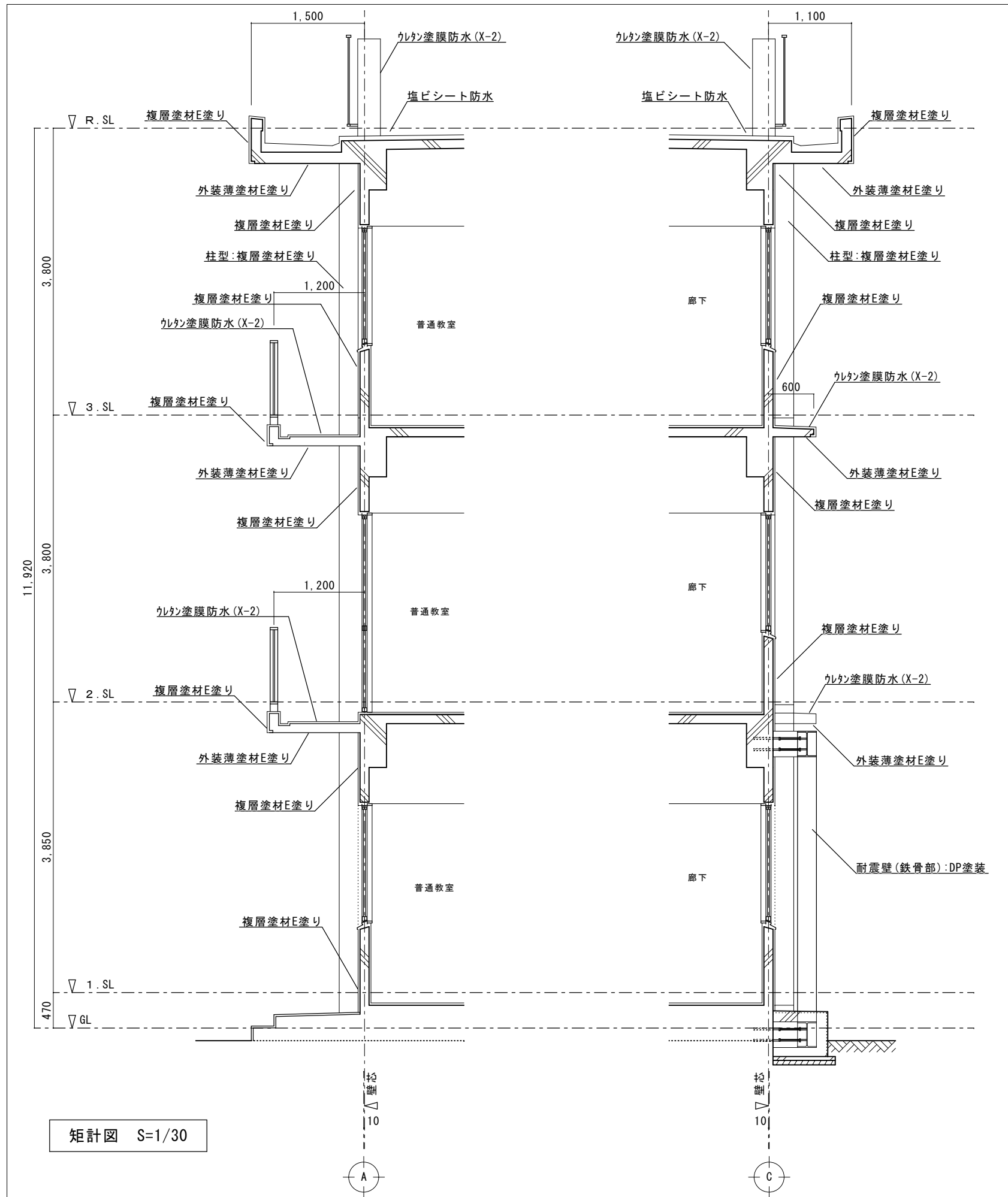
西立面図 S=1/150

工事符号及び工事内容		改修内容
斜線	校舎棟 外壁部 (渡り廊下含む) 危険物庫軒裏	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付け)(庇部、避難ハコ-含む) 外部建具-躯体取合部、目地部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁種撤去(金具共)の上、壁種取付 05-VPφ75(SUS金具共)
格子	小庇 各天端バルコニー 渡り廊下 R階 手摺控柱 (X-2工法)	既 存: 防水モルタル現し 改修内容: 高圧洗浄、クラック処理、下地処理(目地埋め含む)の上、外装薄塗材E吹付け ※バルコニー 防滑仕上げ

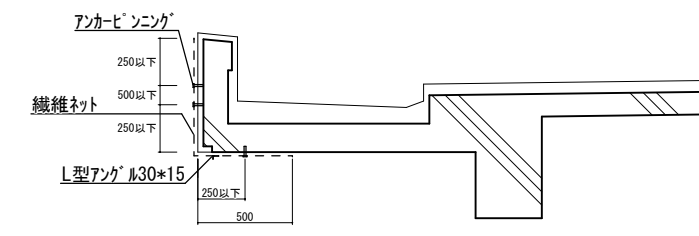
符号	仕上げ	
A	既存	外壁・柱・梁型:モルタル剛毛引きの上、外装薄塗材E塗り
	改修	高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
B	既存	耐震壁(鉄骨部):DP塗装
	改修	下地調整の上 DP塗装
C	既存	巾木:モルタル金コテ押え
	改修	既存のまま
D	既存	外装薄塗材E吹付
	改修	高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
E	既存	防水珪藻塗り
	改修	高圧水洗浄、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
F	既存	壁種: VPφ75
	改修	撤去の上 カラーVPφ75取付(SUS掘み金物共)

共通事項
 外装薄塗材E:高圧水洗浄(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 複層塗材Eローラー塗り:高圧水洗浄(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 外部建具、躯体取合部:変成シリコン系シーリング(MS-2)打替
 外部配管・配線・ウェザーカー:DP塗装

A1: 100%
A3: 50%

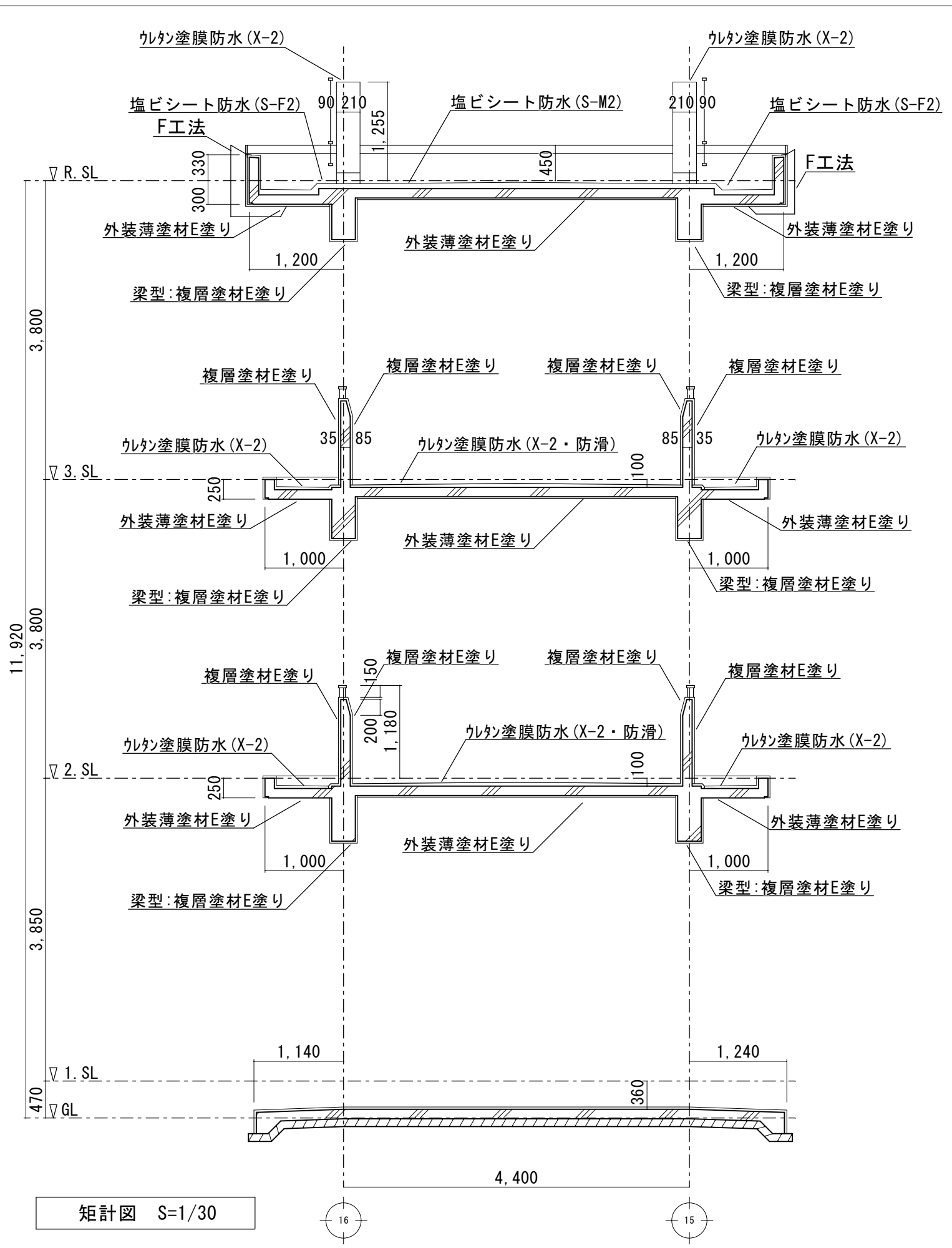


改修内容	
(A)	高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
(B)	高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
(C)	高圧水洗浄、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
(D)	シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2(機械的固定工法)
(E)	既存シート防水撤去後、下地調整、シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-F2(接着工法)

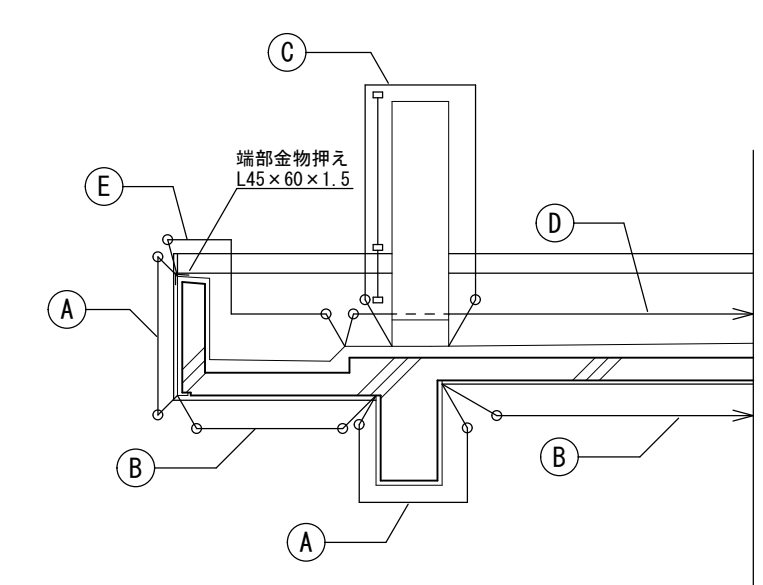


矩計図 S=1/30

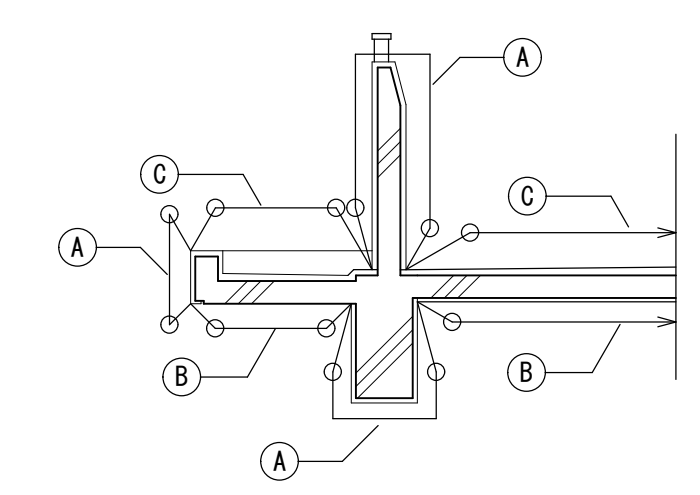
F工法詳細図 S=1/20



矩計図 S=1/30



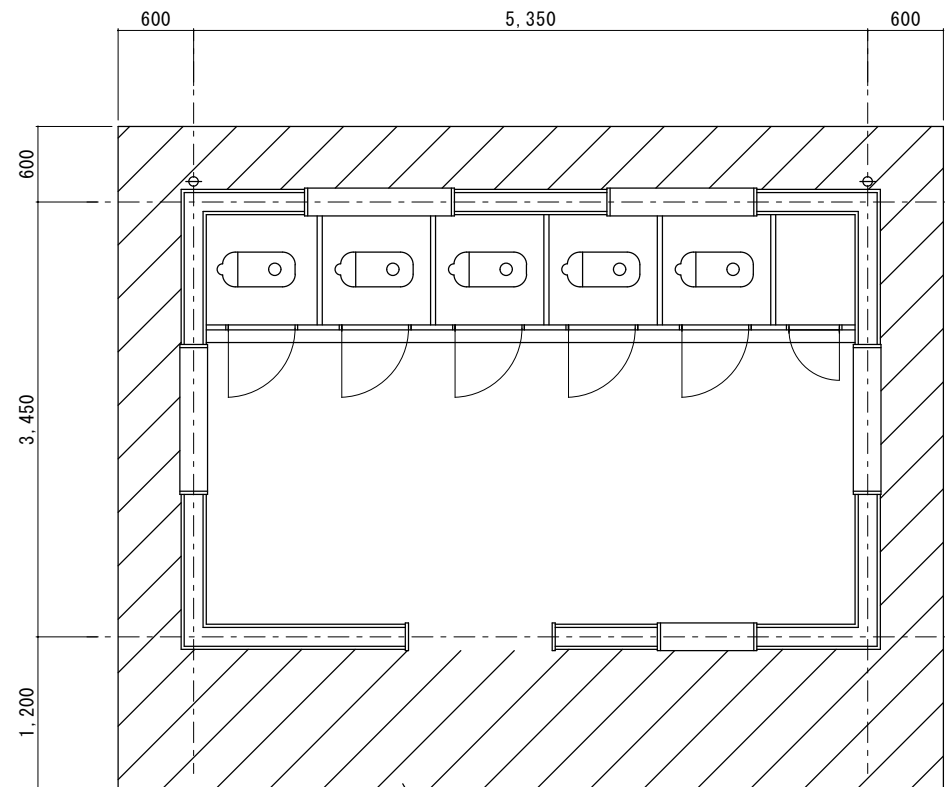
渡り廊下R階部分詳細図 S=1/20



渡り廊下2・3階部分詳細図 S=1/20

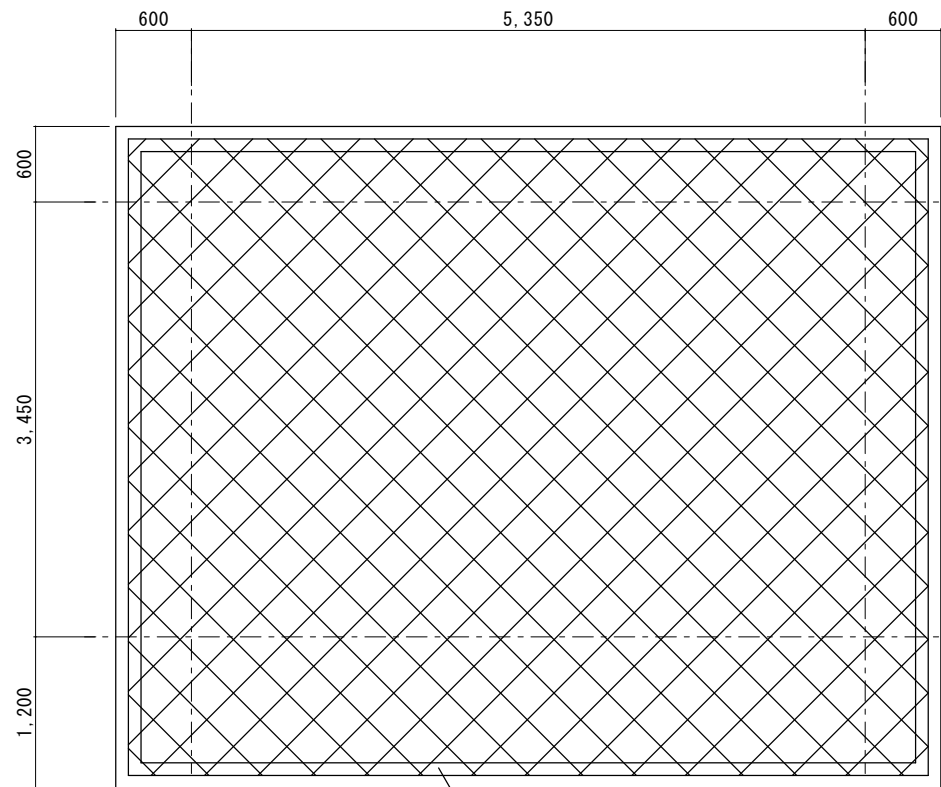
改修内容	
Ⓐ	高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
Ⓑ	高圧水洗浄、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
Ⓒ	高圧水洗浄、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
Ⓓ	シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-M2 (機械的固定工法)
Ⓔ	既存シート防水撤去後、下地調整、シート防水 塩化ビニル系 t=1.5mm S-F2 (接着工法)

A1: 100%
A3: 50%



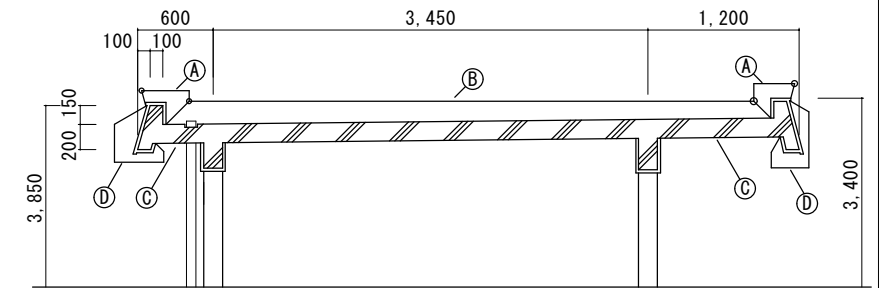
部: 軒裏 劣化改修の後、外装薄塗材E塗り

屋外便所平面図 S=1/30



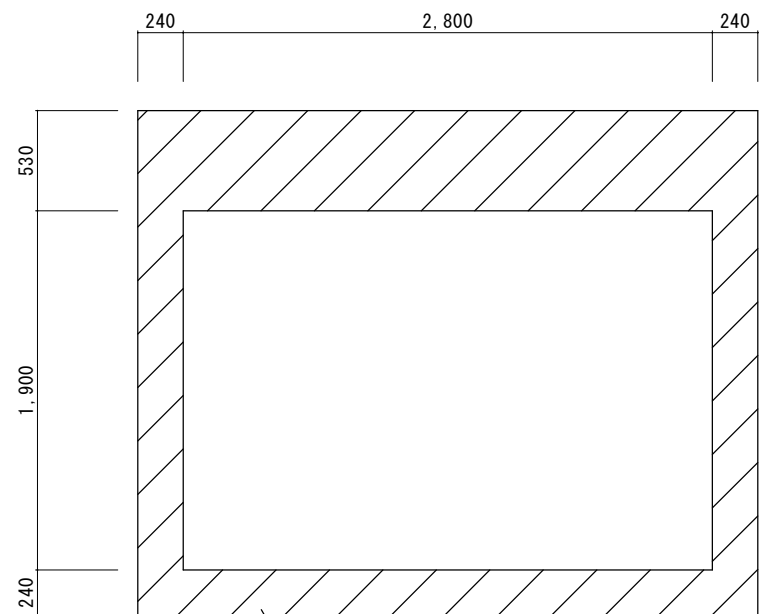
部: 下地調整の上、シート防水
モルタル笠木部: ウレタン塗膜防水(X-2)

屋外便所屋根伏図 S=1/30



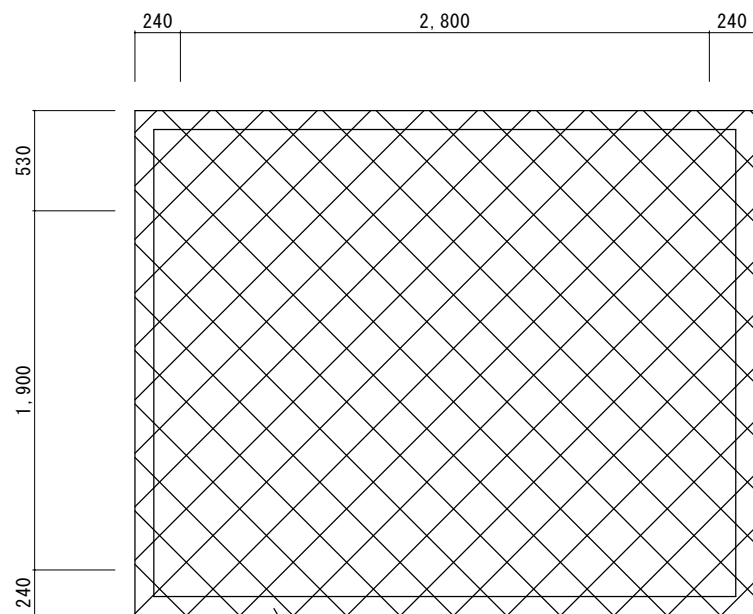
屋外便所断面図 S=1/30

Ⓐ	既存	笠木 防水モルタル金コシ押し
	改修	ウレタン塗膜防水(X-2)
Ⓑ	既存	シート防水(露出工法)
	改修	下地調整の上、シート防水(S-M2)
Ⓒ	既存	コンクリート打放し アクリル系リシン吹付
	改修	下地調整の上、外装薄塗材E塗り
Ⓓ	既存	防水モルタル金コシ押し
	改修	下地調整の上、複層塗材E塗り



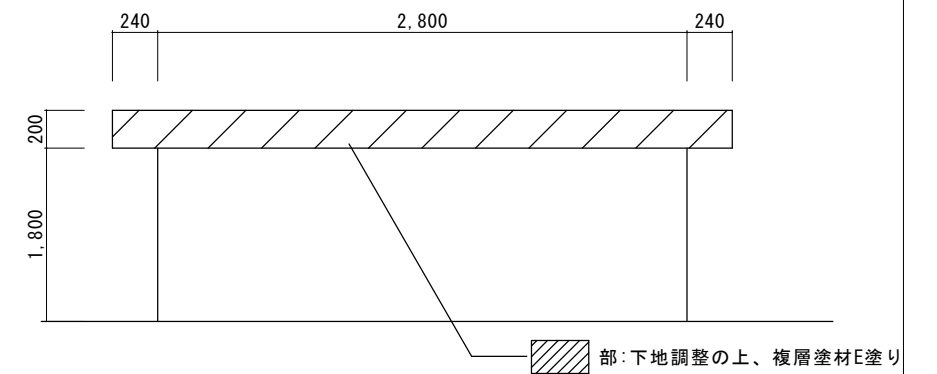
部: 軒裏 劣化改修の後、外装薄塗材E塗り

危険物倉庫平面図 S=1/20



部: ウレタン塗膜防水(X-2)

危険物倉庫屋根伏図 S=1/20



部: 下地調整の上、複層塗材E塗り

危険物倉庫断面図 S=1/20

A1: 100%
A3: 50%



参考数量書

§ 工事名称 福山市立幕山小学校南棟校舎外壁改修工事

§ 工事場所 福山市幕山台二丁目17番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立幕山小学校南棟校舎外壁改修工事

工事場所 福山市幕山台二丁目17番1号

【工事概要】

外壁改修工事
防水改修工事

一式
一式

対象建物 南棟校舎
鉄筋コンクリート造 3階建
延べ面積 2,570㎡

渡り廊下
鉄筋コンクリート造 3階建
延べ面積 347㎡

屋外便所
鉄筋コンクリート造 平家建
延べ面積 18㎡

危険物倉庫
補強コンクリートブロック造 平家建
延べ面積 5㎡

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				

南棟校舎									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

屋外便所						
名	称	数	量	単位	金額	備考
仮設工事		1		式		
外壁改修工事		1		式		
発生材処分		1		式		
	計					

危険物倉庫									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

南棟校舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

屋外便所					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

危険物倉庫					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

南棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		548	m ²			
開口養生	割り増し	877	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		548	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,828	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,828	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 150日	131	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 150日	2,964	m ²			
くさび緊結式足場	150日 底部 ブラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	279	m			
くさび緊結式足場	150日 屋上底部 ブラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	99.1	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	267	m			
外部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 150日 バルコニー部 棚足場 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	210	m ²			
養生シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	3,095	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	493	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	2	か所			
計						

南棟校舎		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	2,439	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化処理		70.6	m ²			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	80.7	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		103	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	3.7	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	73.5	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25カ所/m ²)	56.7	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部(5カ所/m)	113	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	5.1	m ²			
F 外壁複合改修	ビニネット工法	309	m ²			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	248	m			
計						

南棟校舎		外壁改修工事		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15Mpa程度(150~200kg/cm2)	2,605	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	545	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	1,894	m ²			
複層塗材 E (耐震補強壁)	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整共	166	m ²			
DP塗り (耐震ブレース)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	72.8	m ²			
DP塗り(細物) (換気口・配管)	VP管 3級 B種 下地調整RB種 配管端末穴埋共	84	m			
DP塗り (建具)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)・建具調整共	1	式			
ドレン塗装	錆止め塗料塗り 下地調整共	32	か所			
計						

南棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄	防水改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm ²)	1,828	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	1	式			
改修用ルーフトレン (トーム型)	75φ 縦型 材工共	16	か所			
下地調整	下地処理・クラック処理	1	式			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	155	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面 防滑仕上げ	210	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	63.3	m ²			
端部金物撤去		1	式			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	408	m ²			
ケレン	立上部, 溝部	408	m ²			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ポリマーセメントペースト	408	m ²			
合成高分子系ルーフィ ングシート防水 (S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	408	m ²			
合成高分子系ルーフィ ングシート防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	992	m ²			
防水押えアルミアングル (材工共)	L-45*60*1.5 ジョイント, ピース含む シーリング共	326	m			
SUS脱気筒	材工共	13	か所			
シーリング撤去	集積共	1,138	m			
シーリング撤去	集積共 アスベスト含有	758	m			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	1,896	m			
計						

南棟校舎		発生材処分		発生材運搬費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設発生材運搬費	一般	0.4	t			
建設発生材運搬費	廃プラ	0.6	t			
建設発生材運搬費	CON ^ラ	2.4	m ³			
発生材運搬費	石綿含有産業廃棄物	1	式			
計						

渡り廊下		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		70.6	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		70.6	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	415	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	415	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 150日	431	m ²			
くさび緊結式足場	150日 底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	62.6	m			
くさび緊結式足場	150日 屋上底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	31.3	m			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	31.3	m			
養生シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	431	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	63.5	m ²			
計						

渡り廊下		外壁改修工事			外壁劣化改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	790	㎡			
A-2 モルタル面表面劣化処理		22.9	㎡			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	26.1	m			
C-1 クランク部打放し面 サビ鉄筋処理		33.3	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25㎡以上	1.2	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	23.8	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 指定部(25カ所/㎡)	18.4	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	36.6	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	1.6	㎡			
F 外壁複合改修	ビニネット工法	35.5	㎡			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビース@450含む	33.6	m			
計						

渡り廊下		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄	防水改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm ²)	415	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	1	式			
改修用ルーフトレン (トーム型)	75φ 縦型 材工共	4	か所			
下地調整	下地処理・クラック処理	1	式			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	82.6	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面 防滑仕上げ	163	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	6.9	m ²			
端部金物撤去		1	式			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	61.8	m ²			
ケレン	立上部, 溝部	61.8	m ²			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ポリマーセメントペースト	61.8	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	61.8	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	101	m ²			
防水押えアルミアングル (材工共)	L-45*60*1.5 ジョイント, ピース含む シーリング共	52.9	m			
SUS脱気筒	材工共	3	か所			
計						

屋外便所		外壁改修工事			防水改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄	防水改修 水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm2)	36	㎡			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	1	式			
改修用ルーフトレン (トーム型)	75φ 縦型 材工共	2	か所			
下地調整	下地処理・クラック処理	1	式			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	6.2	㎡			
端部金物撤去		1	式			
合成高分子系ルーフィ ングシート防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	29.8	㎡			
防水押えアルミアングル (材工共)	L-45*60*1.5 ジョイント、ビス含む シーリング共	118	m			
SUS脱気筒	材工共	1	か所			
計						

屋外便所		発生材処分			発生材運搬費	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬費	一般	0.1	t			
建設発生材運搬費	廃プラ	0.1	t			
建設発生材運搬費	CON ^ラ	0.1	m3			
計						

危険物倉庫		外壁改修工事		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高压水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 高压水洗機 加圧力15Mpa程度 (150~200kg/cm ²)	3.4	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費 (C-1) 共	3.4	m ²			
計						

危険物倉庫		発生材処分		発生材処理費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設廃材処理費	一般	0.1	t			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	鋼製 H2.0 設置・撤去・賃料・基本料・運搬費 含む 5か月	60	m			
キャスターゲート	W6000×H1800 片開き 5か月 架払い手間, 運搬費, 維持管理費共	2	か所			
荷揚げ費	ラフレンクレーン 16t吊り ホベレーク付き	1	式			
建設用防護管取付	サビ止基本料, 加算料金共 低圧引込線防護 家屋側 1件あたり	1	式			
工事中情報共有 システム利用料		1	式			
計						